



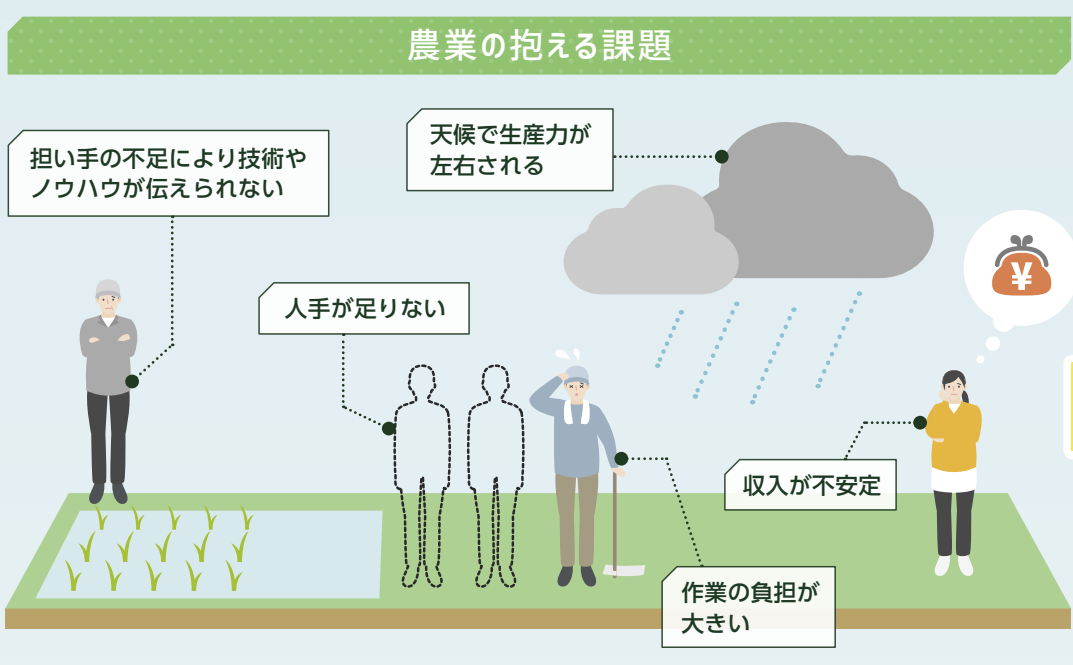
農業と先端技術のスマートな出会い

✂ スマート農業とは？

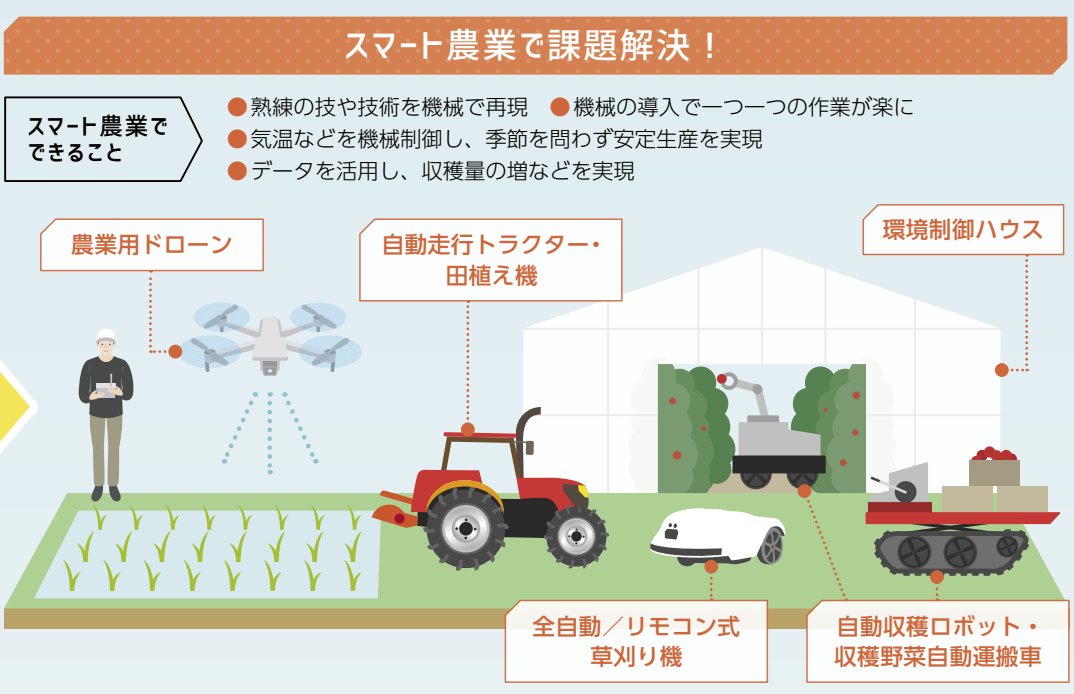
ロボットやAI（人工知能）、ICT（情報通信技術）などの先端技術を活用して、省力化や高品質生産などを可能にする新たな農業のことです。市内でもさまざまな場面で多様な先端技術が活躍しています。また、農業が抱える課題解決の手段としても注目されています。

盛岡のスマート農業

4つの事例



解決



市長コラム

今まで培われてきた農業技術に、先端技術を駆使した「スマート農業」が融合することで、農業がさらなる進化を遂げようとしています。

「スマート農業」という言葉を初めて聞いた人、聞いたことはあるけど自分とは縁遠くなじみのないものだと感じている人も多いかもしれません。

しかし、市内にも、スマート農業の技術や理論を活用し、省力化や高品質生産を実現している農業従事者が増えています。

市では、今後も、農業の振興を重点施策に位置付け、スマート農業の導入を支援します。また普及に向けた取り組みを推進し、市内の農家の皆さんの生産力向上やよりよい環境整備に尽力していきたいと思っています。

盛岡市長
谷藤 松明



導入事例 1

【ドローンの導入で女性でも農作業が楽に】

10年ほど前から専業農家として米などを作っています。以前から、機械を使えば力仕事などにも対応でき、効率を上げることができるのではないかと考えていたので、フォークリフトの免許を取得し、さらに、ドローンを導入。おかげで重い荷物の運搬や農薬散布が楽にできるようになりました。

特にドローンは人件費と時間の大幅な削減につながっています。導入前は5～6人で田んぼにホースを引いて年に2・3回、2週間以上かけ

て農薬を散布していましたが、力仕事なので女性の私には大変な作業でした。ドローンを使えば、コントローラーで操作するだけなので私でも楽にできますし、所要時間も約半分に。浮いた分の労働力や時間を他の作業に回せるので助かっています。

今後は、スマート農業の考え方を取り入れれば性別に関係なく、農業分野で活躍できるということを広く発信し、女性の農業従事者を増やしていければと考えています。

市の助成事業を活用して、農業用ドローンのオペレーター講習を受講

農事組合法人FS・クルー（下飯岡 14）
藤村 なぎさ さん(31)



導入事例 2

【ドローンによる農薬散布は田んぼにも人にも優しい】

将来、農家として独立することを目指し、さまざまな農作物の作り方を実践で学んでいます。その中で画期的だと感じたことが、農業用ドローンの導入です。導入前は農薬散布機を背負って田んぼの中に入り作業していたのですが、どんなに気を付けていても稲を踏んでしまうことがありました。また、散布中はどうしても健康への影響が心配でした。それらがドローンの導入で全て解消

されたのです。稲を踏む心配もなく、農薬をかぶることもなくなりました。操作も、ゲームの感覚で難しく習得できました。

今後はドローンだけでなく、他のスマート農業も勉強して、独立就農という目標達成のために日々頑張りたいと思います。

市の助成事業を活用して、農業用ドローンを購入

農事組合法人となん（下飯岡 14）
阿部 暉 さん(23) 皆川 渉 さん(22)



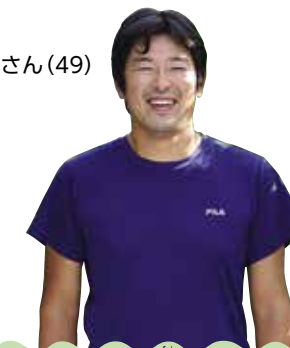
導入事例 3

【環境制御ハウスでおいしいトマトを安定栽培】

生産量を増やすために、夏に限らず一年中盛岡でトマトを栽培できればと考え、4年ほど前から環境制御ハウスを使って栽培を始めました。このハウスでは、おいしいトマトができる気温や湿度、日照条件といった環境データをコンピュータが蓄積し、トマト栽培に最適な環境を365日・24時間体制で再現しています。これにより、夢だった「品質の良いトマトの通年生産」を実現。また、夏の生産時期だけだったスタッフを通年で雇用できるようになり、経営者としてこの栽培方法を選んで本当に良かったと感じています。

将来的にはさらに規模を拡大し、おいしいトマトを盛岡の人たちに食べてもらいたいですね。

株式会社いわて若江農園（猪去一本木）
わかえ としひで
若江 俊英 さん(49)



導入事例 4

【時間もコストも削減 全自動草刈機】

2畝ほどの農園でリンゴを作っています。今までは一般的な草刈り機を使っていた上に、樹木の間などは除草剤を使用しなければならず正直大変でした。そんな時、メーカーから紹介され、全自動草刈機を導入。草刈りにかけていた時間がほぼゼロになり、その分リンゴに直接関わる摘花や袋掛けといった作業に集中できるようになりました。小型のため樹木の間など狭い部分もしっかり刈ってくれるので、樹間に散布していた除草剤の量が減り、コストも削減できました。常に芝生程度に短くなり、作業するのも気分がいいですね。

これからさらに台数を増やしていき、もっと、リンゴをおいしくする作業に時間をかけることができるようになったらうれしいです。

大柳果樹園（湯沢 6） 藤澤 剛 さん(60)



✂ スマート農業を取り入れてみませんか？

農業用ドローンの購入＆講習の受講料を支援します！

市では、農作業の効率化と生産性の向上を目指す農業者を支援するため、スマート農業導入促進事業を実施しています。令和2・3年度は、ドローン本体の購入経費とドローンのオペレーター講習の受講料に対して補助をしました。令和4年度の事業内容については、広報もりおかや市ホームページなどでお知らせします。



導入事例 5

【牛のお産で大活躍！分娩予知システム】

産気付いた時に体温が低下するという牛の習性を生かし、体温の低下をスマートフォンに送信するシステム。体温の変化にいち早く気が付き駆け付けられるため、分娩後に小牛が死亡してしまうリスクや、何度も牛舎に確認しに行く手間を減らすことができます。

